

おいしいお米ができますように 国見小学校農業体験学習

国見小学校5年生の児童たちは5月10日、農業体験学習の一環として田植えを行いました。

当日は、小坂アグリ株式会社や県北農林事務所伊達農業普及所、JAふくしま未来国見営農センターの協力をいただき、児童たちはぬかるむ足元に悪戦苦闘しながらも、苗を丁寧に植えていました。秋には稲刈り体験も予定しており、収穫後はみんなでおいしく天のつぶを味わいます。



「天のつぶ」の苗を丁寧に植える児童たち

元気に長生きしてください 佐久間シガさん 100歳のお祝い

100歳の誕生日を迎えた5月12日、佐久間シガさんへ知事賀寿と町敬老祝金が自宅にて贈呈されました。引地真町長が自宅を訪問し、知事賀寿と敬老祝金、花束をそれぞれ手渡し100歳を祝いました。

佐久間シガさんに長寿の秘訣を伺うと、「家族円満で元気に過ごすこと」と笑顔で話してくれました。これからもお元気で過ごしてください。



花束を手にする佐久間シガさん

すくすく元気に、大きくなあれ！ 赤ちゃんに誕生祝品を贈呈

令和4年度に生まれた赤ちゃんへ、誕生祝品の贈呈式が5月26日に国見町役場で行われました。令和4年4月に生まれた赤ちゃん2人とご家族が出席。誕生祝品として乳児用の肌着と紙おむつが贈呈されました。

贈呈された肌着は株式会社東京エンゼル本社福島工場生産されたもので、贈呈式に出席したご家族たちに石塚勝美工場長から直接手渡されました。



贈呈を受けた赤ちゃんと石塚勝美工場長（右）

交通安全に役立てて 県北中学校の生徒へ反射材を贈呈

安全運転管理桑折・国見地区事業主会が、県北中学校1年生63人に交通事故防止に役立ててほしいと、5月19日に反射材を贈呈しました。同会会長の和泉守昭さんから、県北中学校運動委員会会長の佐藤凜空さんへ反射材が贈呈され、受け取った佐藤さんは「1年生に反射材を身に付けてもらって、登下校の安全を守るために使いたい」と話しました。



反射材を受け取った佐藤凜空さん（右）



創立50周年記念号を手にする中村洋平会長

ふるさとの歴史を知る

国見町郷土史研究会が創立50周年記念号を発刊

創立50周年を迎えた国見町郷土史研究会が、「郷土の研究」創立50周年記念号を発刊しました。今回発刊された記念号には、故菊池利雄先生の遺稿の中から「石母田城と石母田氏」についての貴重な論考など、多数の歴史資料を掲載。

会長の中村洋平さんは「多くの方のおかげで50周年を迎えることができました。この会報を皆さんに読んでいただき、町の歴史文化に触れてほしい」と話しました。



児童書や文具等を受け取った児童たちと寺島長司会長（右）

児童の健やかな成長を願って

国見町共同募金委員会が子どもクラブへ寄贈

子どもクラブを利用する児童たちの健やかな健康を願い、4月25日に町社会福祉協議会から20万円相当の児童書や文具等が寄贈されました。

この取り組みは、共同募金会から市町村募金委員会に交付された事業費を活用したもので、昨年を引き続き行われました。受け取った児童は、「大切に使って、みんなで仲良く遊びたいです」と笑顔でお礼の言葉を述べました。

行政の役割ってなんだろう？

国見小学校で行政相談出前授業

行政相談出前授業が4月27日に国見小学校で開催され、6年生の児童たちが日常生活と行政との関わりについて学びました。出前授業では、町の行政相談委員の羽根田ヒサさんが講師となり、「行政って何だろう？ 行政相談委員の仕事とは？」をテーマにクイズや具体例を交えながら行政の役割等について説明。行政相談制度を身近に感じてもらうことで、制度の積極的な活用を求めました。



事例をもとに説明を行う羽根田ヒサさん（左）

税の大切さを学ぶ

国見小学校で租税教室

租税教室が5月2日に国見小学校で開催され、6年生の児童たちが税金について学びました。

租税教室では、町税務課職員が講師となり、税金の使い道や大切さを児童たちに説明しました。また、1億円分の紙幣の見本が用意され、約10kgの1億円を手にした児童からは「1億円は思っていたよりも重かった！」という感想が聞かれるなど、児童たちは税金やお金の大切さを実感していました。



1億円分の紙幣の見本を持ち上げる児童たち